

1) 宗教的現象

●すべての時代のどの民族にも宗教が見られる。

→人間は宗教的動物？

●宗教は文化の代表的な表現

宗教の影響を受けて発展してきたもの。	
--------------------	--

※宗教現象は多種多様であり、一律に評価できないものである。実際、呪術的な生活の宗教や祈禱に終始する宗教、社会生活から隔離する秘教的な宗教、そして政治活動に密接する宗教もある。また、はっきりした教義や、神学もなく、感情だけに終わる宗教もある。

2) 宗教の起源

見解は様々。

ア) _____

イ) _____

ウ) _____

→宗教への目覚めは、人間としての生き方への目覚め。

3) 宗教とは？

『宗教』：（キリスト教）・（イスラム教）・（仏教）etc.

宗教
宗 教
宗教的：（愛する）・（祈る）・（祝う）etc.

●この二つを分けて考えてみることにする。
※自分がこの世に生を受けたこと、そして今自分が生きていることの意味や物事の価値について考え、そこに自己を超える絶対的な存在を見いだしてゆくもの。

4) 宗教の形態

①（呪術的宗教）

儀式・祈禱によって、自然の力を支配する。

そうすることによつて、病気を治し、事故を防ぎ、雨を降らせ、未来を予知し、あらゆるよい効果をもたらすことができる、と信じる。また特別に能力のある人（巫女、シャーマン、魔術師など）がいて、秘伝の方法で不思議な現象を引き起こせる、と信じる。

②（先祖崇拜）
人間の魂の不滅

死者の冥福を祈ったり、墓を建て、お参りし、法要をしたりして死者の靈魂との出会いを目的とするもの。

なお、一部の社会では先祖を神と称し、その靈を神として祭ることもある。同じように、自然や動植物に精霊が宿ると信じ、それらを宗教の対象にするものもある。これらを「ケルト」という。

日本の神道の根底にはこのような考え方がある。神社には偉人と戦死者の御靈を祭つたりする。また種々の生物、無生物を、御神体にして礼拝している。

③（多神教）

複数の神を同時に崇拜

ギリシャ神話や日本の神話に出てくる、神々など。戦争の神、学問の神、医学の神、縁結びの神など多くの神を信じる。日本の原始宗教は、この傾向が強い。

④（汎神論）
神は、世界に内在する。神と世界は同一。

仏教の中に見られる。仏教の信仰の対象も神や仏というが、それは、世界と別に存在するものではなく、世界に内在するものであり、命の本源、ものの本性だとされる。

宗教は、絶対者を礼拝するためにあるのではなく、むしろ、悟りを得、絶対者との合体を得るためにある。だから、祈りよりも瞑想を強調する。

このようないかの宗教は、ギリシャのストア学派、パラモン教、仏教、ヒンズー教などに代表される。

⑤（一神教）

唯一の神 人格神

唯一の神を信じる宗教。初めもなく終わりもなく、永遠の存在で、全知全能であり、世界を創造し、それを支配する。汎神論の神と違って、人格的な神である。世界を超越し、神秘であり、人間の理解を超える。

このようないかの宗教は、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教などに代表される。

問 宗教の起源には様々な説があるが、宗教がどのようにして起こってきたか自分なりに考えて書きなさい。